



日本から世界へ。 東北の工芸「裂き織」の挑戦

盛岡市

株式会社 幸呼来^{さっころ}Japan

それまでは一部の愛好家のみが知る手工芸「裂き織」を、ファッション分野でも注目される「生地」へと昇華させてしまった盛岡の株式会社幸呼来Japan。裂き織文化の紹介と障害者の雇用の場づくりに奮闘し、壁を乗り越えてきた石頭^{いしがしら}社長にお話をうかがった。

裂き織をデザインから見直し、多くのメーカーとコラボ

古い布や着物を割いて作られる「裂き織」。東北地方で長らく受け継がれてきた手工芸が今、全国のファッションメーカーや有名セレクトショップから熱い注目を集めている。そのきっかけを作ったのが、盛岡市の株式会社幸呼来Japan。障害を持った人たちの就労を支援する福祉サービス事業所であり、製作を担っているのも施設を利用する社員である。

「彼らの作る裂き織は緻密できれい。その技術を社会で生かし、裂き織文化を若い人にも知って欲しかった」。自らも織り機に座するという石頭悦社長。会社員時代に訪れた高等支援学校で裂き織に出合い感動し、社内で裂き織事業を立ち上げた情熱の人だ。しかも東日本大震災で事業の運営が困難となるや独立を決意、福祉事業所の登録申請を行って雇用と事業の継続を共にやり遂げた。

同社の裂き織は織りの緻密さと仕上げの丁寧さに加え、色合いの美しさも大きな特徴だ。元布は、盛岡さんさ踊りに参加する色柄も様々な企業の浴衣である。だが使い終えた浴衣を裂き織に使うという発想は前代未聞、「当然

ですけど最初は断られまくりました」と石頭社長は笑う。その熱意にさんさ踊り実行委員会が協力して、約600着の浴衣が集まりスタートした「さんさ裂き織り」は、コースターやポーチ、南部鉄器とコラボした照明器具「南部の灯火^{あか}」等様々なアイテムに展開し、協賛企業も年々増えているという。

苦勞して作り上げた自社ブランド。その販売戦略を「盛岡限定」と石頭社長はいう。「当初は各地の展示会に参加しましたが、全国的にはさんさ踊りの知名度は低かった。じゃあ逆に地域限定にして、さんさ踊り好きや盛岡にきた人のお土産に使ってもらえばいいと考えました」。ターゲットを絞り付加価値を高める戦略をとる一方で、全国展開できる製品開発を探っていた石頭社長。そこに登場したのが、もうひとつのブランド「パノレーチェ」である。

パノレーチェは、デニムの製造過程で出る「耳」など、服地の残反を使った裂き織。特にデニムの耳は厚みや質感が独特で、「これを裂き織にしたら絶対面白い表情が出る」と石頭社長は確信、開発に取りかかる。縦糸の変更

や仕上げの難しさなどの課題をクリアし完成した製品は大手アパレルメーカーの目にとまり、若者に絶大な支持を誇るデニムブランドや国内外に展開するセレクトショップ等から、多くの生地製作依頼が舞い込んでいる。来年には海外展開する靴メーカーとコラボした製品が、世界に向けて発売される予定だ。

裂き織りで全国制覇を一。起業時に石頭社長が掲げた思いは、世界にまで広がった。「私たちの織り物が世界企業に使われている。その喜びが、社員の姿勢までも変えました」。裂き織の普及と雇用の場づくりを経て確かな技術力をも手にした同社は、次の挑戦へ向かっている。



代表取締役
石頭悦



①浴衣を割いて緯糸を作り、商品の幅に合わせて織っていく。配色や色合いにより手の感性が生き、全く同じ生地は出来ない。②生地を割く下処理。ほつれはハサミで丁寧に取り除く。仕上がりの美しさは格段だ。③元布。必要に応じて染色も行う。④端の始末の美しさなどにも製品のクオリティが現れる。⑤有名セレクトショップ「ビームス」とのコラボで実現した裂き織レディスジャケット。

幸呼来Japanの技術

商品デザインはスタッフで出し合い、試作品を自分たちで使用し商品化に繋げる。アーティストに提供したギターストラップから発想を得たカメラストラップはヒット商品。

幸呼来Japanの技術

アパレルメーカーから出る残反に着目、裂き織の技術で作上げたブランド「パノレーチェ」。広島県の製造メーカーから提供されるデニムの耳で製造された布は、その独特の質感からクッションカバーやランプシェードなどインテリア性の高いアイテムに展開されている。



幸呼来Japanの技術



デニム地は硬く従来の縦糸では織れなかった。糸の変更、そして仕上げの縫製でのトライ&エラーで培った技術が「パノレーチェ」ブランドを支える。



いわて産業振興センター活用事例

服地の残反を使った「パノレーチェ」ブランド立ち上げに「設備貸与制度」「いわて希望ファンド」を利用。「一歩踏み出すきっかけを与えてくれた」と語る石頭社長は、次の事業展開を支える支援制度にも期待する。

企業データ

会社名 株式会社 幸呼来Japan
本社 盛岡市安倍館町19-41
電話 019-681-9166
代表者 石頭 悦

CORPORATE DATA

創業 平成23年(2011)9月
従業員 21名
業種 裂き織商品の制作・販売
URL <http://www.saccora-japan.com>